

高齢者見守りシステム



急増する高齢者の問題

認知症による徘徊

認知症による行方不明者は年々増え、2013年に行方不明として届けられた認知症高齢者の数は約1万人。目を離れたすきや、寝ている間に認知症の家族がどこかに行ってしまう、気づくのが遅く、見つけた時には事故に遭い、亡くなっていたケースも少なくありません。



一人暮らし高齢者の増加と孤独死

一人暮らしをしている高齢者の数は年々増加の一途をたどっており、「国勢調査(2010年)」では65歳以上の高齢者のうち、男性で10人に1人、女性で5人に1人が一人暮らしをしていることが明らかになっています。

多くの一人暮らし高齢者が直面しているのは、孤独死の問題です。地域社会との接点がなく、社会から孤立する一人暮らしの高齢者が多く、「困ったときに頼れる人がいない」と回答している人が一人暮らし高齢者の5人に1人に上っており（内閣府2011年意識調査）、急に体調を崩してしまっても気づくことが遅く手遅れになってしまったり、体の温度調整機能



そんな問題をスマート見張り隊で解決！

<徘徊見守り>外出するとあらゆる方法でお知らせ

各種センサーとスマートスイッチの組み合わせで、玄関のドアを開けた時に、メールで連絡したり、音や光で知らせることができます。夜中に徘徊に出たとしても、あらゆる方法でお知らせするので、すぐ気づくことができ、すぐに連れ戻すことができます。

⚡️ **すぐ気づいてすぐ連れ戻すことが徘徊時の事故防止につながります。**

<遠隔見守り>日常の動作を離れた場所から確認できる

センサーで人を感知し、スマートフォンなどでその情報を確認できます。また、IPカメラをシステムに組み込めば、センサーを利用した間接的な見守りだけでなく、実際の様子を確認することができるので、急病で倒れた時に早期発見ができます。

⚡️ **離れていても毎日の行動を確認することができ孤独死から守ることができます。**

<温度・湿度見守り>室内の温度の変化によって冷暖房を自動でON/OFF

あらかじめ、「室内の温度or湿度が～以上／～以下になればエアコンをON/OFFする」と設定しておけば、センサーで室内の温度を検出し、自動でON/OFFすることが可能です。体の温度調整機能が低下し、冷暖房のつけ忘れで起こる、熱中症や、乾燥などからくる風邪を、未然に防ぐことができます。

⚡️ **自動で温度・湿度調整ができるので熱中症や風邪から身を守ります。**

詳しいシステムイメージは裏面を参照

<徘徊見守り>

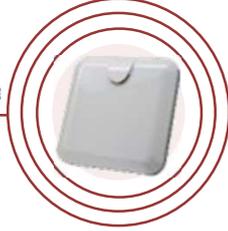
玄関

玄関のドアを開閉するとドアセンサーが反応



ドアセンサー

ホームゲートウェイ



お知らせ

ランプやアラームでお知らせ



プッシュ通知



<遠隔見守り>

一人暮らしの高齢者宅

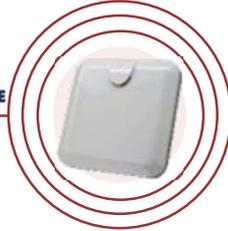
マルチセンサーで人を感知
(IPカメラで映す)



マルチセンサー



ホームゲートウェイ



確認・お知らせ

感知したらメールでお知らせ



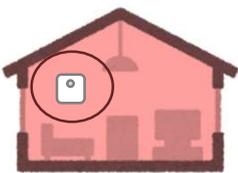
スマホやタブレット、パソコン等で姿を確認
※IPカメラ使用時



<温度・湿度見守り>

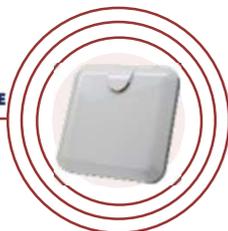
室内

マルチセンサーで温度・湿度を検知



マルチセンサー

ホームゲートウェイ



家電製品

設定温度・湿度になれば自動でON/OFF



エアコン



HAスイッチ

遠隔地からでも温度・湿度を確認しスマホやタブレット、パソコン等でON/OFFも可能



■お問い合わせ先

<https://kotosol.jp>



コトソリューションズ株式会社

TEL.090-1587-7135 担当:森

〒616-8376

京都府京都市右京区嵯峨天龍寺瀬戸川町17-12
ドウエル嵯峨の荘407号